

Library News & Topics



愛国学園短期大学
Aikoku Gakuen Junior College

Vol. 43 (2020年1月6日発行)
愛国学園短期大学図書館運営委員会



新年あけましておめでとうございます

元号が変わり、初めての新年を迎えました。元旦から気持ち良いスタートを切ることができたでしょうか。新年を迎えると、楽しいことが沢山ありますね。初詣やおせち料理、お雑煮、お年玉・・・

「一年の計は元旦にあり」ということわざが古くからあります。「一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だ」という意味があるそうです。目標は大きければ大きいほどいいと言われる。その目標に近づくためには、日々の積み重ねの努力が大切です。

1年生は、短大生活を有意義に過ごし、大きな目標にチャレンジして欲しいです。2年生は残り少ない短大生活を悔いのないように楽しんでくださいね。

《学生による図書紹介》

「家政学概論」の課題として、図書館に所蔵の「家政学」に関する本を読んだ学生の方の感想文二編を紹介します。

「非伝統的家庭の子育て—伝統的家庭との比較研究—」を読んで

出版社 家政教育社、編著者マイケル・E・ラム、久米 稔監訳

発行年月日 1993年8月10日

生活デザイン専攻1年 勝又 美沙

この本は全部で11章に分けられていて、私は最初の3つの章に重点を置いて読みました。

家庭の伝統的な責任分担の仕方と伝統的な育児の仕方が好ましいという仮定は4つの考え方に基づいています。その原理とは①子供には男女の両親が必要である。②家庭の責任のある仕事は、両親の間で父親は経済面の支持者として、母親は家事と面倒を司る者として分担されるべきものである。③母親は父親よりも子育てや面倒見に適している。④幼い子供の主たる面倒見には家族全員が当たるべきである。最初の3つの章では両親が両方の経済的支持者である家庭に絞っています。ここで関心の根源が二つあり、第一は父親が一家の稼ぎ手の責任を共有するようになり、親の責任分担の伝統が変えられるようになったこと。第二は、子供の面倒の責任の一部を家庭外の人たちに転嫁するというものです。これらは、母親が勤めるようになり家庭内の調和のとれた交流に害を与えてしまい、子供に不利な影響を与えたと考えられた面倒見が、実証的な裏付けはほとんど存在しないことが示されています。稼ぎ手が二人いる家庭の研究では、両親が賃金労働に同等に従事している場合でも、家庭内の役割や責任の伝統的分担がよくなっていることが明らかになっています。

この本を読んだ感想として、幼少期に虐待を受けた子供は大人になって必ずと言っていいほど、臨床的問題や何らかの影響が起こり、家庭環境は子供の成長に大きく影響するので、それはとても大切だと思いました。子育ての面で、又そうでなくても自分の異変に気が付いたらすぐに周りの方に相談したり、趣味に時間を注いだりすることで最悪の状況を防ぐことができると思うので、周りの方に頼ることも必要だと改めて思いました。

『何もない部屋』で暮らしたい」を読んで
出版社 宝島社、著者 ミニマルライフ研究会
発行年月日 2015年11月6日

食物栄養専攻1年 飯田 有希乃

この本では、「ミニマリスト」という「ミニマル=最小限」という言葉の通り、身の回りにある"モノ"を最小限にとどめ、モノを手放し、シンプルな生活を送る10人について紹介しています。

この本を読んで、私の部屋はとてもの物が多く、いつも机の上が物でいっぱいだったり、入りきらない洋服がそのままになっていたりするので、思い切って断捨離することの大切さを知ることができました。特に印象に残ったことは、紹介されている10人みんなが物を最小限に減らし、本当に必要なものだけにすることで時間にゆとりができ、生活が明るくなった、物を大切に使うようになったと言っていることです。普段、私は"もったいない"と思って物を捨てられなかったり、"いつか使える"ととっておいてしまうことが多く、片付けても片付けても物は減らない一方になってしまいます。しかし、物が多いことによって、机が散らかっていて勉強もやる気が起きなかったりして、無駄な時間が多くなってしまっていることに気づくことができました。そして、課題などに追われ、趣味に時間を費やすことができない日が多くなっています。豊かな時間を過ごすためにも、不要なものを減らし、ミニマルな生活を心がけることが大切だと学びました。

また、普段"可愛いから"、"安いから"と本当に必要かをじっくりと考えずに服や物を買ってしまうことが多いので、「物を減らしていくことで本当に必要なものが分かる」という言葉が心に響きました。この言葉から私は、ものを買うときは本当に必要かどうか、まだ使えるものがあるのではないかと、じっくりと考えてから買うようにしたいと思いました。

しかし、物や洋服を"買う"ということも私の趣味の1つであり、楽しみなことなので、「ものを買ってはいけない」と縛られすぎずに、あくまで今買おうとしているものが本当に必要なものであるかをしっかりと考え、買ったなら最後まで大切に使うということを心掛けていきたいです。そして、ミニマリストのように、片付けをする事で豊かな生活を送れるようにしていきたいと思いました。

図書館からのお知らせ

卒業予定者で延滞の方は、早急に返却をお願い致します。

延滞者に対する事務処理に伴い、資料の貸出等の取扱いは次の通りです。
ご理解、ご協力をお願いします。

〔延滞〕

病気等、やむを得ない事情で返却が遅れる場合は、事前に図書館にご連絡下さい。延滞資料がある場合は、新たな貸出はできません。 返却日から1ヶ月過ぎても返却がない場合は延滞者リストを掲示します。 それでも返却がない場合は、電話連絡等で返却の督促をします。

〔紛失・破損〕

資料の紛失及び汚損の場合は、図書館担当者に申し出て下さい。特別な理由がない限り、現物により弁償していただきますので、取扱いには充分注意して下さい。

図書館の図書及び資料につきましては、返却期限までに必ず図書館カウンターまで返却ください